



- 1985.6.16 三末司教叙階式
- 1988.3.21 教区「一粒会」発足
- 1988.4.1 広島地区信徒使徒職協議会発足

- 1990.6.10 「広島教区カトリック青少年情報センター」開設
- 1991.2.24 教皇来広 10 周年記念講演会 (本島等長崎市長)
- 1991.12.8 真珠湾 50 年を記念して広島とハワイで合同平和ミサ
- 1992.6.14 広島教区司祭大会「滞日外国人との連帯と司牧」
- 1993.4.1 学校法人「広島信望愛学園」設立
- 1993.4 教区宣教司牧評議会設置
- 1993.4.25 NICE2「教区大会」
- 1993.9.23 「主和の輪」(広島教区聴覚障害者と健聴者の会) 設立
- 1994.6.1 岡山・鳥取地区センター開設

- 1995.8.5 戦後・被爆 50 周年「広島教区平和年の集い」“ 和解し、平和の使徒になろう ”
- 1996 平和年推進委員会が「平和の使徒」推進委員会へ
- 1997.7.21 広島カトリック会館落成
- 1997.11.9 ドミニコ野口由松司教帰天
- 1998.4.1 広島地区センター開設
- 1999.10.19 「ザビエルの聖腕」広島教区へ
- 1999.11.16 西日本宣教司祭大会 (福岡教区・大名町教会)

カトリック

広島教区報

特別号

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

広島市中区鞆町 4-42
広島司教館内
TEL (082)221-6017

三末篤實司教様 と共に歩んだ 25 年

- 2000.8.6 三教区 (インファンタ・広島・プサン) 姉妹縁組調印ミサ
- 2001.4.1 「平和の使徒推進室」設置
- 2001.8.5 日本司教団、教皇ヨハネ・パウロ二世来日 20 周年を記念し、平和祈願ミサ
- 2002.10.20 「教区大会」開催 年間テーマ「沖に漕ぎ出せ～輪を拡げていく共同体～」
- 2003.9.23 広島教区創立 80 周年 年間テーマ「沖に漕ぎ出せ～キリストのみ顔の光りを輝かせて～」
- 2004.8.6 世界平和記念聖堂献堂 50 周年 年間テーマ「心を一つにして平和のために働こう」

- 2005.8.6 戦後・被爆 60 周年三教区姉妹縁組 5 周年
- 2005.11.23 広島教区代表者会議 年間テーマ「信仰イキイキ明日の教会～ひとつのこころ、ひとつのからだ～」
- 2006.2.25 教皇ヨハネ・パウロ二世来広 25 周年
- 2006.4.16 宣教司牧に関する司教宣言「平和の使徒となろう」
年間テーマ「信仰イキイキ新たな出発～わたしを遣わしてください～」
- 2007.9.22 第 33 回カトリック「正義と平和」全国集会・広島大会
年間テーマ「平和の使徒となろう～殉教者を想い、自分の信仰を生きる～」
- 2008.11.24 ペトロ岐部と 187 殉教者列福式 (長崎) 年間テーマ「平和の使徒となろう～今殉教を生きるとは～」
- 2009.6.30 司教区昇格 50 周年 年間テーマ「平和の使徒となろう～和解をもたらす「新しい人」に～」
- 2010.6.6 三末司教叙階 25 周年 年間テーマ「平和の使徒となろう～神さまの呼びかけにこたえて～」

三末篤實司教様との
思い出をたどって



大阪大司教区

池長潤大司教

三末司教様の司教叙階二十五周年おめでとうござい

ます。思い出せば二十五年前、私はまだイエズス会司祭として、広島で働いていました。野口司教様が引退なさって、後継者として三末神父様が選ばれたことを聞いた時、中央協議会で重責を負っておられたとびきり明るい神父様のイメージが飛び込んで来て、早くも大きな期待を持つようになりました。

叙階式に参列いたしました。世界平和記念聖堂があふれるばかりの人で満たされていたことをはつきり記憶にとどめています。今も最後に撮った写真を持っています。あの大きな聖堂中の人を、聖歌隊席から写しているの、多少大きなサイズに現像されていて、一人ひとりは砂粒のように見えるのです。引き続き広島市長東に居る時に、司教様から招いて頂いたり、こちらからお招きしたりして、二人でレストラン

で食事をとりながら話しあったことを鮮明に憶えています。

そのうちに司教様の透析が始まり、ご健康が心配になりましたが、私も思いがけず司教になり、司教会議でいつもお目にかかり、乙女峠祭りの時には何回もお招き頂き、毎年の原爆の日には平和行進から世界平和記念ミサに参加させて頂きました。

この間ご病気にもかかわらず、いつも愉快に交わらせて下さり、接待をして頂く時にはつねにゆたかなご配慮を示して下さり、十年以上も前から、余命いくばくもないとおっしゃりながら、ご健康を保持して下さい感謝いたします。

司教叙階二十五周年
によせて



広島司教区

司教総代理
斉藤眞仁神父

三末司教様、司教叙階二十五周年おめでとうござい。これまで司教職を全うすることは大変なご苦勞があったと思います。特に透析は精神的にも大きな負担であると思えます。それを持ち前

のユーモアで、周囲の者をかえって元気づけられるその人柄には、本当に尊敬しています。そのエピソードのひとつ。

被爆五十周年の年、広島・長崎の宗教者平和巡礼をバチカン、アシジ、キリスト教世界協議会、アウシュビッツで行いました。その時のことです。長崎のある高名な方が、オーストリアの空港だったかスイスの空港だったか、出発を待っている間、ズボンをゆすり上げられました。すると一万円札が、ヒラリヒラリと腹巻きから何枚も落ちてきました。すかさず司教様は「王、金田、広岡」と叫ばれ、まわりには我々の仲間、周囲を見まわして、気付いた人は、隣りにいたほんの二、三名で、すぐ拾い、事無きを得ました。この時の巡礼は参加した皆さんに深い感銘を与えたように、今だに会うと思いい出話が出ます。これからも司教様の働きを神様が祝福して下さい、わたしたちの霊的より所となつて下さいますようお願いいたします。

「われらの牧者、ヨゼフ
三末司教と共に歩んだ
広島教区、神に感謝！」



広島地区長

後藤正史神父

わたしが、かつて二年間、カトリック中央協議会に出向していた頃の話です。たびたび司教協議会などの集まりで、全国から司教たちが集まってきましたが、三末司教は職員の間でもっとも人気がありました。なぜかと考えてみるに、気さくでみずから進んで気楽に声をかけておられるお姿が思い浮かびました。出会う相手の人にプレッシャーを加えるようなことがなかったからではないでしょうか。病をわずらった後でも、病院の待合室で元氣よく、根気よく「おはよう」のあいさつを続けられ、初めの頃の堅い雰囲気をやわらげることにつながっていったといえます。このように、どこにあっても笑顔を通して、生きる喜びを分かち合う姿勢を貫いていくことに努めておられたと思います。最近、笑顔の効用があちこちで言われていますが、生来の明るさで、物事を前向き

にとらえようとされた姿勢は時代の先駆けでもあったかもしれませぬ。

数年前、岡山県の鶴島巡礼にいらっしやった時の話です。ミサの後、三末司教は、鶴島中腹の草原で、鶴島の殉教者について講話なさいました。その中で、憲法九条の大切さについて熱っぽく、わたしたち巡礼者に向かつて語りかけられたことが強く印象に残っています。殉教者たちは命をかけて、神様の御旨に従おうとされた、わたしたちは彼らにならい、平和を守り抜くために力を尽くすよう招かれていますと説かれました。殉教の島で透き通った青空のもと、暖かいひざしを受けながら、草の上に座っているわたしたちは平和の使徒として歩む召命をあらためてかみしめる、かけがえのない機会を与えられました。

今日の広島教区の宣教司牧の土台となつている、「宣教と司牧に関する司教宣言06」が発表されてから、三末司教はしばらくの間、「右手に聖書、左手にこの宣言(小冊子)」と、この宣言の重要性を訴えておられました。三末司教の励ましとお導きを受けて、各教会、各地区での分かち合いが積み重ねられ、さらに教区大会や教区代表者会議などが開かれました。司教



の手によって、まとめられ、発表された宣言、基本方針は広島教区の歴史において、今後とも特筆大書されていくにちがいありません。わたしたち広島教区をお導きくださった三末司教に感謝申し上げます。また、共に歩む道を整え、見守って下さった神に感謝、アレルヤ！

司教叙階銀祝
おめでとーじゅいませす



岡山・鳥取地区長
萩喜代治神父

岡山鳥取地区民一同、お喜び申し上げます。

今、当地区での二十五周年の様々な行事を思い出しています。

①広島からは遠方に位置する十一の小教区を、一〜二年毎に公式訪問して下さいました。

②淳心会員の助祭、司教叙階式の式にも来て下さいました。

③ハンセン病長島愛生園内にあるロザリオ教会も訪問し、ミサ聖信を捧げて下さいました。

④長崎四番くずれの殉教地、岡山県鶴島でもミサを捧げて

下さいました。
⑤ノートルダム清心女子大の記念祭でも、ミサを捧げて下さいました。

⑥倉敷・清心で開かれました教区創立七十五周年でもミサを捧げて下さいました。

その他二十五年の間には、様々な行事がありました。これらはひとえに、教区のすみずみにまで心を配って下さった司教様のご配慮と心から感謝しております。多くの信者は「ユーモアあふれるほがらかな司教様で、誰にも好かれる性格を持っておられます。」と話していました。今後のご健康とご活躍を心からお祈りしております。

**三末司教叙階
二十五周年にあたり**



山口・島根地区長
佐々木良晴神父

司教様、司教叙階二十五周年、心よりお祝い申し上げます。

司教様に初めてお目にかかったのは、故ヴィエラ師のイエズス会入会五十周年のお祝いが山口のホテルで催された時でした。司教叙階後、数

年経ってからだだったと思いません。故ヴィエラ師を父親のように慕っておられた作家の曾野綾子さんも招待されておりました。司教様は気さくで明るいお人柄だとの印象を受けました。六甲教会での司牧生活を終え、十一年ぶりに広島教区に戻り、祇園、徳山、山口、島根地区本部という流れの中で、公式訪問や種々の会議などで、司教様にお会いする機会が増えて参りましたが、第一印象の気さくで明るいお人柄は一貫していらつしやいます。様々な病を身に負いなながらも、明るさを失うことのない司教様のお姿に、教区民は計り知れない励ましと忍耐力を学んでいると思います。どうか今後とも教区民を励まし続けてください。心からの祈りと感謝のうちに・・・。



2007年 アドリミナ

お祝いの言葉



インフアンタ教区
ローランド J.

トゥリア ティローナ司教

この度の、広島教区長である三末篤實司教様の司教叙階二十五周年という喜ばしいお祝いと、広島、プサン、インフアンタ教区の姉妹縁組十周年という節目にあたり、私はインフアンタの聖職者一同と共に、三末司教様と三教区の強い結びつきに対し、私たちの熱い祈りに満ちたごあいさつとお祝辞を述べさせていただきます。

広島教区と韓国のプサン教区、そしてフィリピンのインフアンタ教区は、深い友情の絆を結んでおり、信徒たちの霊的生活を高めたという共通の願いを持っており、定期的な集いを通して、私たちは司牧体験を分かち合いました。また、よりよく理解しあい、人々の生活を身近に体験することができるようにと、私たちは互いの司祭たちと信徒たち、とりわけ青年たちの訪問を受け入れあってきました。この相互訪問は私

たちに多くの司牧における教訓を残し、またイエス・キリストの教会、彼に従う者の共同体という意識を私たちのうちに深めてきました。

インフアンタ教区の司祭団は広島教区、とりわけ三末司教様が、私たちがインフアンタで行っている宣教司牧活動に関心を寄せてくださっていることに、深く感謝の意を表します。司教様は貧しい子どもたちのために学校を建てるといような司牧プログラムやプロジェクト、そして私たちの神学校への支援を続けてこられました。

私たちは、信徒リーダーや司教たちをも含めた聖職者たちの体験の分かち合いと霊的鍛錬を通して、三姉妹教区の友情の絆のさらなる強まりと、互いの訪問による霊的、司教的成長への効果的な道を見出せることを期待しております。貧しい人々、とりわけ貧しい子どもたちと青年たちを援助する共通のプロジェクトを持つことを希望しております。

司教様と広島教区、釜山教区、そしてインフアンタ教区の上に、父である神からのさしあがる祝福とお恵みをお祈りしつつ。

マブハイ(万歳)、三末司教様！ マブハイ、姉妹縁組！ キリストにおいて。

三末司教叙階二十五周年
をお祝い申し上げます



プサン教区
黄^{シテヨル}哲^ス洙^ス司教

まず、第一に三末司教様の司教叙階二十五周年を心からお祝い申し上げます。

司教職は単に個人の追求によって与えられたものではなく、教会の呼びかけにより委任されたものです。このような教会の呼びかけと神の御心に従って二十五年間司教としての役割を立派に果たして来られた司教様のお働きは人間的にみると、そうたやすいことではないと、みずからの経験を通して思います。一地域教会の責任を担い、牧者として生きることが知識や技術だけでできるものではないといふことも日々経験してまいります。何よりも主の御助けと御導きがあつてこそ、と心に留めております。このような意味で今日に至るまで三末司教様をお導きくださった主に感謝と栄光を捧げます。また、司教様のためにいつも祈つてくださった広島教区の信者の皆さんに特別なごあいさつを申しあげます。くしくも三末司教様が司教叙階銀祝を迎える今日、人生の主要な瞬間、二人とも花の一九三六年生

イガグリ頭の・・・

大山教会 三村誠一神父

三末司教様とのお付き合いは、高校一年生からです。私は中学一年から長崎公教神学校(現長崎カトリック神学院)に入学してましたから、高校の時には同じ学園というところから、無試験で高校進学できました(長崎教区立だった東陵学園が神言会経営の長崎南山学園に移行しての第一回入学生)。

ところが、高校一年から二人の神学生が加わりました。その一人が三末少年だったのです。当時の中高生は長髪の許可がおりてなく、みなイガグリ頭でした。平戸(宝亀教会)から来た、いかにも賢そうな少年。その坊主頭の輝きが自分たちのものよりいっそう大きく特別な感じのものでした。

二人が長崎の高校時代には普通のクラスメイトでしたが、福岡の大神学院神学科時代にプライベートのコーラスグループ(ピバンテス・ボー二)の仲間になってから、特別な友人関係が始まり、現在まで続いています。司祭生活全体を通して、仕事仲間―相談相手―釣り友―運転手―旅行友―病友・・・などとして、つながり続けています。

Mundi(世の光)を立ち上げ、公会議精神を生きる信者の養成に取り組みました。

司教様は長崎大司教区初代司牧室長や、カトリック中央協議会事務局長を終え、休む間もなく広島司教に選任されました。また、諸宗教対話に積極的に関わり、日本宗教委員、長崎県宗教者懇話会、広島・長崎宗教者平和会議などへの貢献は高く評価されています。

司教叙階と着座二十五周年の銀祝にあたり、そこに、常に司教様がいた私たちの思い出を綴り、お祝いのブーケとさせて頂きます。



左から小島神父、三村神父、三末司教、野下神父
(ピバンテス・ボー二 神学生時代)

司教叙階二十五周年
にあたり

浦上教会 小島栄神父

もう二十五年も経過したのかと、この思いこみにつけて、

感謝感激の出会い。一緒に写真撮影！

呉教会 楠本聖一・優美子

三末司教様、長崎県外海・出津教会の横にある倉庫？あたりでの感激の出会いからもう二十五年になるんですね、私たちも今年の五月で銀婚式を迎えました。おかげさまで、洗礼、聖信のお恵みを授けていただいた息子たちも二十四才、二十一才・・・二十五年の間に言葉では言い尽くせないほどのお恵みをいただきながら日頃のご無沙汰、失礼お許しください。

出会いは救い・・・二十五年前のあの時の出会いを思い出した際に力が湧いてきます。きょうまで歩んで来れたのも、笑顔で迎えてくださった司教様のおかげです。

たくさんの神父様、家族・友人・信徒の皆様にご心配をかけた後、一九八五年五月五日、無事結婚の秘跡をいただいた私たち。先立つものがない故、海外旅行(聖地巡礼)を諦め、日本の聖地、五島列島・長崎方面へと新婚巡礼旅行。もちろん、ド・ロ神父で有名な外海の出津教会にも・・・教会横を通っていたら、紺色シャツ姿の男性が倉庫整理か何かしておられて・・・

「こんにちは、広島から来ました・・・この教会から今度、広島教区の司教さまがいらつしやると聞いたんですが・・・」
「ぼくだよ。・・・」
「えー!!!」

感謝感激の出会い。もちろん一緒に写真撮影！

司教様は忙しくされていたのに、そして見知らぬ突然の若者カップル訪問なのに、にこにこ寛大に出迎えてくださり、(ある教会では相手にしてもらえませんでした。)おまけに神父館までわざわざ戻って、ドロサマそうめんのおみやげまでプレゼントしてくださったのです。ありがたうございました。広島教区に着座されてからも、たくさんの光を注いでいたできました。特に息子が四才で全身麻酔の手術を受ける日が聖ヨゼフ様の祝日だったときは、司教さまとの不思議な出会いのこの思い出にまたまた照らしていただきました。

二十五年の苦労でお体はほんとうに大変な状況の中、もつと司教さまのために祈り動くべきでした。



司教様と



故・鄭明祚司教(釜山教区)とティローナ司教とともに
2005年教区姉妹縁組5周年行事 広島にて

わたしとプサン教区司教団は広島教区がわたしたちプサン教区の司祭を招請し、広島教区で宣教師生活をして、国境を超えた主の愛を伝え、また体験できるよう配慮してくださることにいつも感謝の気持ちを持っていきます。
健康面でさまざまな困難に直面されながらも、すべてのことに開かれた心で働いておられる三末司教様にお目にかかり、わたしは学び理解を深めるところが数多くあります。司教様の司教叙階二十五周年を心からお祝い申し上げます、広島教区の信者の皆さんにも主の恵みと祝福をお祈りいたします。

三末司教様の思い出

中町教会 野下千年神父

司教様と私は、司教様が一年先輩で神学校の課程を終え、一年前後して司祭に叙階されました。彼はとても品のいい神学生でした。

大神学校時代、何かと規則に縛られた日々のなかで、校則の隙間を狙い、寸暇を見つけてはコーラスを喰ひだす歌キチ神学生グループがありました。教授陣の目を気にしながら始まったのが、やがて教授会の奨励と公認を得、サンズルピス男声四重唱団、その名も「Piparees Band」(ラテン語：気のいいさえずり手たち)として校内デビュー、後輩たちにより、二十余年の歴史を刻みました。

発足初期のメンバーに福岡の鶴野、長崎の三末、三村、野下、小島が、十期に高見がいました。ピパネテスからの司教、大司教誕生は「歌のうまいもんは司教にやなれん」のジンクスを覆しました。ピパネテスOBとなった長崎組は、後にコーラスで育んだ心の絆を司牧に活かそうと、黙想指導チーム「Jux

三末司教様、叙階二十五周年おめでとうございます。一九六二年の司祭叙階後、大浦、浦上両教会助任司祭を皮切りに、神ノ島、出津、カトリックセンター、植松(これだけしか思い出せない)の諸教会で、宣教師の第一線で奮闘する中での広島教区長指名でした。

司教様は天下一品の楽道家です。現在よく言われるプラ志向のハシリであり、その開拓者です。「人事を尽くして天命を待つ」を文字通り生きてこられた人です。学生時代も司祭になられてからも、クヨクヨしている三末司教様を見たことはありません。

三末司教様の長崎時代、特に初期のころはカトリック勤労者連盟(JOC)の指導に明け暮れていました。その頃の青年たちがもう定年を迎えています。そして教会でも社会でもこの人たちが今も核となって活躍しています。今、三末司教様とのかかわりをこの人達と話すことがあります。主任司祭に叱られても懲りず飽きもせず、翌日はまた集まっていた。神父様と語り、活動の中にもいつも神父様がいてくれた。そして今の私たちがいる。

司教様、その調子で今後もがんばってください。広島教区長としてのご活躍に輝かしい実りと神の祝福がありますように祈ります。

司教叙階の年に生まれて



幟町教会 谷田恒平

司教叙階二十五周年とこの世に生れ落ちて二十五周年ということで、今年二十五歳になる私が選ばれたみたいです。若輩ですが、少しの間目を通していただけたら幸いです。

三末司教様は私が「おぎやう・おぎやう」と産声を上げ産まれ落ちる少し前一九八五年六月十六日に司教叙階されました。

私の二十五年間の教会生活を振り返って三末司教様との関わりの中で印象的なのが十五年程前の司教ミサです。

その頃は司教ミサの前日にはよく侍者合宿があり、そこで先輩やリーダーの方に侍者の一つ一つの動き方や侍者としての心得を練習していました。司教ミサは前日に学んだ事の発表会みたいで、練習した事がちゃんと出来るか緊張しながら侍者をしていました。その緊張感から開放される時はいつも決まって三末司教様のお話でした。退堂して信者会館一階で三末司教様からいつものお話を聞きます。

「男の子は神父様に、女の子はシスターになって下さいね」毎回その話を聞いた時、緊張感の開放と安堵感そして早く着替えて遊びたい衝動に駆られました。

今思い返してみても、このお話は三末司教様の温かさからくる安堵感だったと思います。最近侍者をする機会も減り、そのお話を耳にする事も無くなりましたが、若い侍者達が耳にしているでしょう。

最後に二十五年間司教として広島教区を支えていただきありがとうございます。そしてこれからも宜しくお願いします。



出津教会にて司教

青年から三末司教様へ「25の質問」

司教様の司教叙階 25 周年を記念して、
青年から司教様へ「25の質問」をぶつけてみました。



- 1 兄弟は何人ですか？
6人兄弟の3男。僕の上は女性。あとは野郎ばかり。
- 2 小さい頃のあだ名は何ですか？
あっちゃん
- 3 神父様を目指す前の夢は何ですか？
中学校の先生。僕はミッションスクールの英語の先生になりたかったんだけど、父がミッションスクールというのは神学校だと思って勘違いをして電話したことから神学校に行くことになったんだ。
- 4 司教に任命されたときどう思いましたか？
自分で良いのかという気持ちがとても強かったです。
- 5 司教になって 25 年間で一番の思い出は？
一番というのは難しいなあ…、司祭叙階の時のモットー「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」、司教叙階の時のモットー「良き牧者」とともに、皆のためにいつも一生懸命に頑張ってきた。それが思い出です。
- 6 司教様のお給料はいくらですか？
司教になったとき最初の給料は9万6千円でした。ビックリしたねえ。
- 7 何力国語であいさつができますか？
言葉としては26くらいで、国としては100くらいかな。いつもジョークを交えて覚えるんだよ。
- 8 好きな食べ物は何ですか？
「あまからすっぱ」な～んでも。
- 9 好きな音楽は何ですか？
クラシック、特にオーケストラ。
- 10 好きなスポーツは？
スポーツは大体何でも好き。
特に野球とか球技が好きだね。
- 11 自分を動物に例えたら何だと思いますか？
「うさぎ」かな。昔は2本くらい前歯が出てたんだよ。
- 12 若者の教会離れをどのように改善したら良いでしょうか？
僕が小教区にいたときは、各家を回って若者を集めたもんだよ。神父たちにも小さい子への信仰教育に力を入れてほしいと思っているが…。
今の大人たちは自分の信仰を子どもに伝えようとしない、子どもが教会に来ないことをあまり問題に思っていない。日曜日に子どもが教会に行かなくても「あなたのために祈って来るよ」とか「今日は祈りの日だよ」ということを伝えてほしい。
- 13 今の信徒に望むものは何ですか？
周回や家族とコミュニケーションをとってほしいと思います。それが福音宣教の始まりだから。
まずは、挨拶をすることから。それが“愛の実行”に繋がるんです。



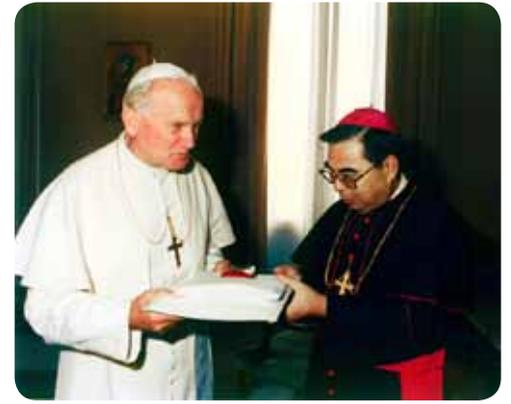
25周年のお祝いに青年から
メッセージ入り手作りストラをプレゼント

- 14 今一番の望みは何ですか？
「皆が神様の望みを果たして、愛を実行しながら平和をつくること」
僕はいつも病院へ行って挨拶の実行をしています。皆にも身近なところから平和を作ってほしいと願っています。
- 15 司教になって一番悲しかったことは何ですか？
沢山あるけど…。はけなくなったズボンがたくさんあることかな（笑）というのは冗談だけど、信仰を離れる人がでてくるのが一番悲しい。もちろん自分の責任も感じます。あとは、信者を散らす司祭の存在というのも悲しいねえ。
- 16 今一番行きたいところはどこですか？
長崎の五島列島の離れ小島に行って、釣りをしながらゆっくり暮らしたい。
- 17 思い出の場所はどこですか？
ニュージーランド。元気だったら住みたいところ。
- 18 長崎で好きな場所はどこですか？
長崎は全部愛してる。特に生まれ故郷の「平戸」かな。
- 19 司教様のオススメ巡礼地はどこですか？
イスラエル、聖地エルサレムだね。ルルドもいいよ。
- 20 愛って何ですか？
人間にとって愛が最高のもの、そして一番大切なものです。愛を感じていなければ人間は存在できなくなる。キリストの愛「カリタス」。愛の根底には自己犠牲が必要で、ゆるすことや自分の欲望に打ち勝つことで最高のものを相手に与えることができる。
- 21 青年に期待することは何ですか？
宇宙くらいあるけど…。これからの将来を担っていく自覚をもってほしいと思います。誰とでもコミュニケーションを取ってほしいなあ。
- 22 今チャレンジしたいことはありますか？
我が人生すべてチャレンジ。いつも実行しようとしているのは「平和をつくること」。
- 23 いつも心がけていることは何ですか？
いつも心に感謝。人間だから、性格が合わないこともあります。でもまずは祈ることから始めます。
- 24 ミサって何ですか？
聖職者のいのち、最高の宝、お恵みだと思えます。司祭にしかできないことだからね。
- 25 最後に信徒へ向けてのメッセージをお願いします
教会に来たらあのヤロー、このヤローとしないでください。初代教会の原型に戻ること。教会に来たら挨拶をして、分かち合って、皆が幸せな状態になることを私は望んでいます。スタンドグラスのように「多様性の一致」が大切です。教会に行ったら慰められることも大切。行事も信仰の一つだと思います。誰かがやってくれるではなくて、何か自分にできることを協力して皆でやっていくことから始めましょう。



教区司祭

- 早副穰 神父
- 野間重信 神父
- 深堀升治 神父
- 長谷川儀 神父
- 豊田尚臣 神父
- 肥塚倭司 神父
- 野寄一夫 神父
- 斉藤眞仁 神父
- 荻喜代治 神父
- 澤野耕司 神父
- 尾島紀代治 神父
- 原田豊己 神父
- 瀧井英昭 神父
- 山口道晴 神父
- 野中泉 神父
- 後藤正史 神父
- 西江和司 神父
- 服部大介 神父
- 金起瑩 神父
- 李尚潤 神父



三末篤實司教様 司教叙階二十五周年 おめでとうございます



修道会

- 愛徳修道士会
- イエズス会
- 淳心会
- フィリピン宣教会
- ミラノ外国宣教会
- 愛徳カルメル修道会
- イエズス孝女会
- イエズス聖心侍女会
- イエスのカリタス修道女会
- イエスの小さい姉妹の友愛会
- 援助修道会
- 援助マリア修道会
- 大阪聖ヨゼフ宣教修道女会
- カルメル修道会
- カルメル宣教修道女会
- キリスト・イエズスの宣教会
- 汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会
- 三位一体の聖体宣教女会
- 師イエズス修道女会
- 聖パウロ女子修道会
- 聖マリア在俗会
- 長崎純心聖母会
- ナミュール・ノートルダム修道女会
- 福音の光修道会
- ベリス・メルセス宣教修道女会
- 聖心の布教姉妹会
- 礼拝会

三末篤實司教 プロフィール

1936

1936年 4月24日 誕生（長崎県平戸市宝亀町）
洗礼（宝亀カトリック教会）



小学6年生時代

1952

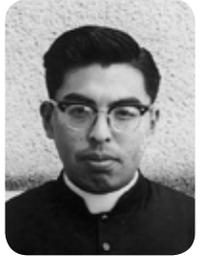
1952年 3月 平戸市宝亀中学卒業

1955

1955年 3月 長崎公教小神学校卒業・長崎南山高校卒業

1962

1962年 3月 サン・スルピス大神学院卒業



神学部時代

1962年 3月 司祭叙階
（長崎大浦天主堂にて、
山口愛次郎大司教より）

4月 長崎・鮑の浦教会助任

1963

1963年 4月 長崎・大浦教会助任

1966

1966年 9月 長崎・浦上教会助任

1969

1969年 9月 長崎・神ノ島教会主任

1971

1971年10月 長崎カトリックセンター司牧企画室長
長崎純心高等学校・非常勤講師



司祭叙階式 おじい様と妹さんと3人で

1973

1973年 4月 佐世保・俵町教会主任

1979

1979年 8月 カトリック中央協議会・事務局次長

1981

1981年 4月 カトリック中央協議会・事務局長

1984

1984年 4月 長崎・出津教会主任



司祭時代

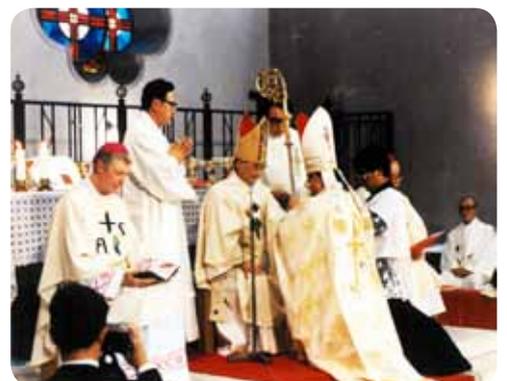
1985年 4月13日 広島司教に任命される

1985

1985年 6月16日 司教叙階（広島カテドラルにて）

司教叙階後の主な役職

- 青少年委員会・委員長
- 広島県宗教連盟 理事長
- 宣教司教委員会・委員長
- エキュメニカル委員会・委員長
- 宣教司牧委員会・委員長他



司教叙階式